



# 吹奏太郎



- ★ 誰のためのコンクールか…コンクール昨今事情
- ★ マイバンド・マイミュージック  
…県立小山城南高等学校吹奏楽部
- ★ 各支部だより(県内各支部広報部員より)
- ★ コンサートカレンダー 1月～3月

---

---

## 目 次

✧ 理事長 巻頭言	-----	1
✧ 「誰のためのコンクールか」	-----	2
✧ 各大会入賞記録	-----	5
✧ マイバンド マイミュージック	-----	8
県立小山城南高等学校吹奏楽部		
✧ 各支部だより		
芳賀.真岡 & 安蘇.佐野	-----	9
下都賀.小山 & 上都賀	-----	10
塩谷.那須 & 下都賀.栃木	-----	11
足利	-----	12
宇都宮.河内	-----	13
✧ コンサートカレンダー	-----	14

---

---

「好きこそものの上手なれ」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚武男

好きでも上手にならず何十年も行なっていることがある。やっても上手にならず、毎日悩むこともある。何故、続けて行おうとしているのか、やっぱり好きだからだ。

私が高校時代に、トロンボーンで奏でた音楽から始まり、教師になってから吹奏楽の指揮を執るようになったことから音楽に夢中である。

音楽は「大好き」と言う人が多い。そのほとんどの人が「音楽を聴く」ことであると思う。今の時代は音楽を聞くための機材がいたるところにあり、家庭や、学校、歩きながらもウォークマン、携帯電話等から音楽を聴くことができる。

しかし、それらから流れる音楽は、イミテーションの音楽が多い。なぜなら、演奏された音楽を色々な装置を使って、クリアーな音にし、正確なリズム、作られたハーモニーの音楽にしてしまうからである。

生の演奏は、時として、音がクリアーでない、演奏のバランスが良くない、音楽全体も下手であるかもしれないが、心に感動を持たされることが多い。それはやはり人が奏でる楽器や歌に感情を伝えようとしていることが分かるからである。

聴く楽しみは、誰にでも今の時代にできそうだ。しかし、音楽の楽しみには、もう一つ大切な「奏でる」と言うことがある。奏でる人は音楽を奏でる喜びと聴く喜びを持ち、単純に二倍の喜びを持っている人となる。

私は、奏でる人たちを指導する立場にあるが、音楽を作り出す苦勞、労働力と時間がかかり、好きこそものの上手なれ、などとはほど遠い状況である。しかし、好きな音楽を50年もやっていることに不思議さえも感じている。

継続は力なりという言葉を借りて、今日も音楽作りに励んでいるのは、やっぱり好きだからだ。

皆さんも好きになることが音楽を上手にする秘訣かもしれません。





# 誰のためのコンクールか？

…コンクール昨今事情…

栃木県吹奏楽連盟副理事長〔第1事業(コンクール)部長〕

都野 祐俊

同じコンクールでも、一般バンドとスクールバンドの場合とでは、意味合いが少し違う。一般バンドは出場資格制限がかなり緩いし、経済も自立しているから、コンクールのために楽器講師、指揮者に資本を投じたりしてかなり自由に「趣味に打ち込む」ことが可能だ。「生涯学習」の一つのスタイル。

一方、スクールバンドには「教育の現場」という制約がつく。出場するのは「学校」であり、校長は責任を負い、顧問がたいてい指揮者を兼ねる。練習制限時間、子どもの人数、資金など各校によってかなり差がある。ここでは、スクールバンドに絞って述べたい。

## 誰のためのコンクールか？ スクールバンド指導者の5つのタイプ。

- ①とりあえず仕事として（職場に代わりがないので、校務分掌として）
- ②自分のため（学校のためと始めつつ、いつの間にか自身のため）
- ③自分と自分の子どものため（自分と自分の学校の子どもたちだけに熱中）
- ④自分たちと自分の仲間の学校の子どもたちのため(知人.仲良し同士.助け合い)
- ⑤自分たちと未知の仲間の子どもたちのため

（新しい仲間を全体に求め、吹奏楽を人格形成のための教育の一部と捉える）

私は、スクールバンドコンクールに関わる人は、やっている内に自然に⑤になって行くと見ている。周囲が育ててくれるのである。しかしながら残念なことに、（打ち込んでいる内に）過熱しすぎて、「賞」至上主義に陥り、学校間の事情の格差を度外視して、金賞の指導者は優秀で、銅賞の指導者は努力が足りないと断定するような風潮が一方に生まれる。「音楽」そのものを楽しむのではなく、「競争」に我を失う。

ホールの入り口に立っていると、その日の音楽会の性質・内容が如実にわかる。一言評論を差し挟まずして音楽は聴けないという不幸。ロビーを歩く子どもたちの会話が、「評論」の狭間（はざま）だけをさまよっているとすれば、なんと寂しい音楽会ではないか。（人生は短いのに！）



こんな回りくどいことを書くのも、実は、昨今私がきわめて残念に感じた「東関東吹奏楽コンクール」の事情があったからである。私は単純に腹を立てている。簡単にいうと、次のような内容である。

A 数年前、千葉県が自県の東関東出演チームに優先権を与えた。県大会の点数成績順に、東関東コンクールの自県分出演順のコマを選べるというもの（後半出場が有利と捉えている）。茨城・神奈川・栃木は、金・銀・銅というブロック表彰崩壊の危機・コンクールの公平性を主張して反対。千葉は、コマ選びは自県の範疇内の権利であると独断し、強行実施した。

B 翌年以降、茨城・神奈川も手の平を返したように同様に。上位代表団体の全国出場をにらむ思惑・圧力もあったか。栃木はブロック表彰の歴史的意義、公平性、午前の部の活性化等を唱え、反対。少数意見となる。コンクール午前の部は極めて低調になる。

C 平16。栃木県内の複数の代表団体から、成績順による出演順選択の優先権の要望が出された。午前出演の不利益性、3県が優先権を認めている現状の中、役員が正論で粘る栃木県の代表団体がいつまでも割損、等の理由。平16は修正せず、検討を約束。

D これを受け、コンクール部会は、代表団体への意識調査アンケート・部会会議（11月28日）を実施。困難ではあるが、ねばり強く東関東を説得し、代表者会議を経た全出場団体による出演順抽選を復活実施させる方向で討議。午前が不利とするなら、プラスのハンディを与える方策を考える（前日の会場リハーサル）など、午前の部の活性化を論議。

しかし、議論しながら、アンケート結果をふまえると、代表団体はこの方向の話し合いを望んでいるのかという逡巡もあった。討議題として県常任理事会に上げる予定であった。

E 日を同じくして11月28日の東関東理事会で、成績順による出演順選択の優先権撤廃。各県にくじで公平に出演順を決めることを義務づけたというのである。29日に連絡を受ける。説明はない。

その密室主義・独断専行に私は異議を唱えるのである。上位代表団体中心の運営姿勢は、指導者のタイプの内、②③に該当しようか。点数が上位の団体が自由



に出演順を取るのは当然の権利と公の場で主張して憚らなかった者が、いとも簡単に180度反対の議決をし、今度はそれを全参加団体に従わせようとする。いったい今後「教育の現場」で、何を正しいと教えようというのか？ 社会の一般常識に「審査」してもらうが良い。この一連の経緯を、千葉・茨城・神奈川・栃木の全加盟団体はどこまで熟知しているのだろうか。

成績上位の代表団体顧問の方々には、音楽面でも、企画力においても優れた人が多い。コンクール参加の頃、私なども、適切で温かい指導を随分いただき、大変なお世話になっている。育ててもらったのである。

しかしながら、今回のことに限っては全国（東日本）大会出場という願いに我を忘れて、自己中心・自校中心の利益優先を主張し過ぎたあまりの出来事である。事ここに至って、「各県の代表団体だけの問題」と居直るのは傲慢すぎはしないか？「代表」になるのは、コンクール全出場団体の中からだからである。

上意下達を押し通し、「現場」を混乱させた東関東吹連には重大な説明責任がある。

読者諸氏をご承知のように、アマチュア・スクールバンドコンクールは、ボランティア的に参加をしてくれている実行委員・補助員、そして多くの後援者の支援を得て成り立っている。コンクールの費用は、コンクールに参加出来なかった学校も含めての連盟費と、コンクール参加費、支援金、入場料等によって賄われている。それを忘れて、参加費を納めて事足りたりとしたり、②③の指導者に徹したりしている姿は、空しい。「今度是一緒に」という所が空しい。「一般バンド」とは趣が少し違うのだ。

一部団体の都合だけを支えて主管する「コンクール」は不毛である。スクールバンドコンクールを実施する、その精神をもう一度検証し直そうではないか。



「教育」と言う哲学を持つ、真の若いスクールバンド指導者・音楽家が沢山出てくれることを祈る。

…私は単純に腹を立てている。





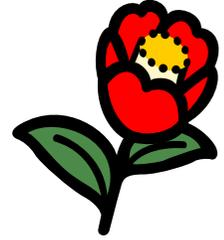
## 県立 小山城南高等学校吹奏楽部

○顧問 山本 伸子

- ・学校所在地… 小山市西城南4-26-1 小山駅から歩いて40分  
(市内循環バスで小山城南高校前下車)
- ・全校生徒数… 693名 ・部員数… 31名(※平成16年度 1,2年生女子)

### ○校風

女子ばかりということもあってか、穏やかなのんびりとした雰  
囲気の学校です。校訓は「一隅を照らす」ですが、その言葉のと  
おり自分の与えられた場所場所で最高の力を出そうと一生懸命に  
努力している生徒もたくさんいます。でも、そんな努力している  
苦勞の姿をみじんも見せない陽気な生徒が多い学校です。ここだ  
けの内緒の話ですが、県内平均より2~3キロ平均体重が重い  
が、その氣質を物語っているかもしれません。



### ○部の過去

我が城南吹奏楽部は、創部およそ40年の歴史があります。30年前までは共学校  
だったこともあり、今でも楽器屋さんとなった男性OBが時々顔を出してくれたりし  
ます。

吹奏楽コンクールで大編成の部に出場できたほどの時代もありましたが、一時部員  
が減少し、私が赴任してきた時は、春休みのうす寒い部室で6人の部員達が待って  
てくれました。その4月には10人の新入部員が入部してきて、部活動復活！！

初めての人前での演奏は、11月小山の城山公園での、ふれあい朝市会場での演奏  
でした。1年生も含め16人での演奏、みんなきらきらいい顔をしていました。その  
演奏をきっかけに、人に聴いてもらうことの大切さと喜びを感じた部員達の積極的な  
活動が始まりました。

### ○部の現在

(年間の活動内容)

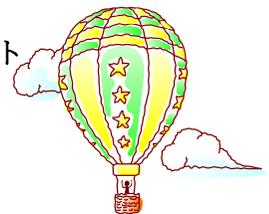
#### 校内

- 4月 入学式
- 5月 新入生歓迎演奏会
- 8月 一日体験学習の中学生への演奏
- 9月 学校祭(体育祭)
- 11月 校内アンサンブル発表会
- 3月 卒業式

校内での活動はだいぶ  
定着してきて、先生方や生  
徒達も楽しみにしてくる  
ようになってきました。

#### 校外

- 7月 小山市吹奏楽フェスティバル
- 8月 栃木県吹奏楽コンクール、マーチングコンテスト
- 10月 東関東マーチングコンテスト  
富士通小山工場ふれあいフェスタでの演奏
- 12月 小山市市民病院でのミニコンサート  
栃木県アンサンブルコンテスト



コンクールとマーチングで同じメンバーが両方に出場しているので、練習の振り分けが大変です。5月早々から、マーチングの基本練習に入り、基礎的な用語・動きなどを覚えます。一旦中断してコンクールの練習、その間にマーチングの選曲をします。コンクールが終わるとすぐに、マーチングの演奏の練習とフォーメーションの練習に入ります。マーチングの練習は、初めは外で行いますが、仕上げは体育館を使用するので、バレエ部・バスケット部の練習の合間に入れてもらって短時間での練習です。「ちょっとたいへんかな～」というのが顧問の感想。「でも、おもしろい」というのが部員の感想です。

## ○部の未来

顧問自身あまり積極的な方ではないのですが、周囲から演奏の話などがあると、まず生徒に相談しています。生徒達はとても意欲的でほとんどの行事に参加しがります。

先日も「先生うちの学校は演奏会をやらないのですか？」と新部長が言っていました。「えっ！演奏会！？どうしようネ…」と答えながらも、もっともっと生徒の気持ちが盛り上がって来たら…と、内心楽しみにしています。



## ○練習内容

日々の練習時間は割と恵まれていて、一日2時間くらいは練習することができます。大まかに月・木は個人練習、火・金はパート練習、水・土は合奏です。毎月パートごとに月目標を決め、達成できたか確認し合います。

また、全体の目標は3ヶ月単位くらいで決めておきます。(この全体目標は本当に初歩的なもので恥ずかしいのですが、10月からの目標でさえまだ、息のスピードを揃えようなどというものです。) まだまだ、部活動としては発展途上の部で、目標のハードルが低いのですが、少しずつ、少しずつ進んでいきたいと思っています。

## ○部の組織

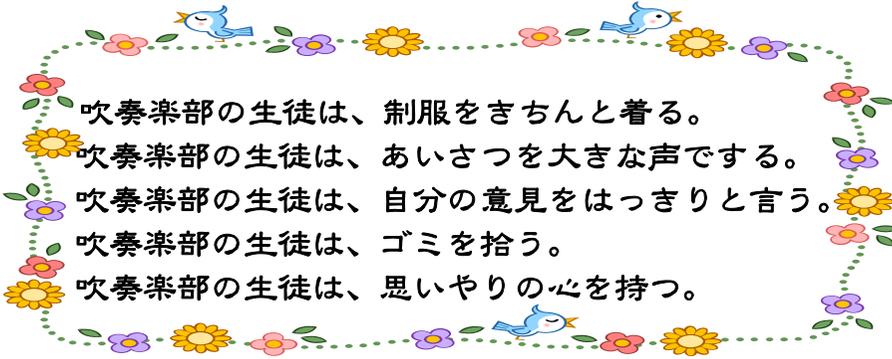
部長を筆頭に、副部長、書記、会計、学指揮、セクションリーダー、パートリーダーなどの係があります。2週間に一度くらいの割合でリーダー会議を開催していますが、ここには顧問はほとんど出席しません。後で、部長からの報告を受けます。

部長は毎日、昼休みにその日の活動内容確認と日誌を受け取りに顧問のところに来ます。この日誌は毎日パート毎にかぎ当番がまわってくるので、それと一緒にパート内の一人が記入します。それを朝顧問がチェックし、昼休みに部長に渡します。

練習が終了した後、全員が集まってミーティングを行いますが、部長が昨日の反省を読み上げ、感想を述べます。

この鍵当番のほかにゴミ当番もあります。ゴミ当番は、毎月パート毎に変わります。これらの役割のほかに、行事の度に企画、進行、振り付け等委員会を設けそのリーダーの指示に従って行動することになっています。(合宿の時の部屋割り担当委員などは、学年を混ぜたり、パートを混ぜたりかなり苦勞をしている様子でした。)

## ○約束



- 吹奏楽部の生徒は、制服をきちんと着る。
- 吹奏楽部の生徒は、あいさつを大きな声でする。
- 吹奏楽部の生徒は、自分の意見をはっきりと言う。
- 吹奏楽部の生徒は、ゴミを拾う。
- 吹奏楽部の生徒は、思いやりの心を持つ。



(部室の中ではこれは大変良くできています。しかし一歩外に出るとまだまだ・・・。  
これが、部室の外でもできるようになると、演奏も上手くなってくるんだけどな～)

## ○現在の悩み その1

朝、8時頃出勤すると Hr.の音がきこえてきます。あつ、きょうは Fl.の音も…、というふうに、朝練は自主的にちょっと練習が不足しているなどか、合奏に間に合わない人がやっています。

城南高校の部室は一階の化学室の隣にあります。いつ頃からそうなったのかは定かではありませんが、楽器搬出にはめっぽう便利です。しかし、欠点もあります。朝練、昼休み、テストの時の音だし等は、化学準備室のすぐ隣のため部室でできないのです。ですから、朝練、テスト前の音出しは3階西の音楽室まで楽器を持って行っての練習です。かといって、放課後は、音楽室はミュージックベル・ピアノ等の音楽部が活動しています。顧問も部員も、3階と1階を行ったり来たり何回することでしょう。

部室は、化学教室1室分ですから、3年生が引退した現在はいいのですが、ぎゅうぎゅうの状況で練習しています。個人練習・パート練習はグラウンドで行うことが多いです。

## ○現在の悩み その2

顧問が、優しいためなかなかぴりっとした雰囲気にならないのが欠点です。わかってはいるけれど、この年になるとなかなか治りません。また、顧問の血液型が詰め甘いO型なので、やはり演奏に詰め甘い甘さが出ます。これも、なかなか治せません。



## ○最後に

小山城南高校は平成18年度(来年)から総合学科・男女共学に変わります。総合学科とはバイキング料理のように自分の好きな科目を選んで勉強することができる学科です。文系・理系のほかに、福祉、健康、芸術等の系列がありますので、現在中学2年生の皆さん、夏休みの一日体験学習の時には是非見学にいらして下さい。男子生徒も大歓迎です。その時にまたお会いできる事を楽しみにしています。



MY BAND・MY MUSIC ---- END

## 各支部だより

### 芳賀・真岡支部

#### ソロコンテスト選考会80名参加しました

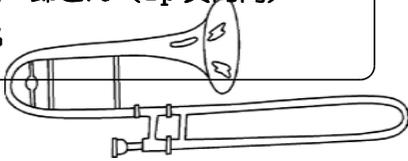
12月5日(日)に二宮町民会館にて小・中・高校生のソロコンテスト選考会が行われました。昨年度からステージ発表での選考会となり2回目となる本年度は昨年度より大幅に参加者が増えました。本選に出場する皆さんの氏名を紹介します。

#### 小学校の部

染谷笙子さん (Fl 真岡小)  
渡辺愛さん (Fl 真岡小)  
益子桃子さん (Fl 真岡西小)  
小菅悠希さん (Fl 真岡小)  
吉沢唯香 (Cl 真岡西小) 以上5名

#### 高校の部

青山萌子さん (Fl 真岡女子高)  
伊澤未来さん (Fl 真岡女子高)  
武崎創一郎さん (Tp 真岡高)  
以上3名



#### 中学校の部

鶴見妃彩さん (Fl 真岡中)  
染谷若那さん (Fl 真岡中)  
菊島佑美さん (Fl 真岡西中)  
大越絵梨花さん (Fl 真岡西中)  
石川晴茄さん (Cl 真岡東中)  
杉山博子さん (Cl 真岡東中)  
猪瀬徹さん (A S ax 久下田中)  
宮本睦さん (A S ax 真岡東中)  
塩野谷孝子さん (Tp 真岡中)  
上野香織さん (Tb 久下田中)  
向原愛美さん (Tuba 久下田中)  
岩崎小百合さん (Per 真岡西中)  
以上12名



### 安蘇・佐野支部

11月14日(日)、「葛生ふるさと祭り」が開催されました。葛生高等学校吹奏楽部は、あくとプラザ前中央広場で「屋外ミニ・コンサート」を行いました。その翌日、学校長宛に一通のお手紙が届けられました。

今日、葛生ふるさと祭りに行きまいりました。吹奏楽部の演奏、本当に感激いたしました。日ごろの練習のたまものと思いますが、素晴らしい演奏でした。生徒たちの努力次第で、一日一日の積み重ねが、こんな素晴らしい結果につながるのだとつくづく感心いたしました。(中略)どうぞ今後とも、練習に励み、生徒の努力と根性の結果をまた、私たちに聴かせてください。楽しい、素晴らしいひとときをすごせたことに感謝いたします。

部員一同、大感激でお手紙を読ませていただきました。見も知らずの自分たちの努力を陰ながら見守って応援して下さった方がいたこと。まだまだ未熟で反省点の多い演奏にもかかわらずこんなにも喜んでいただけたこと。本当にありがたいことだと思います。

自分たちの存在が、ほかの人に認められ、役に立ったという気持ちは、本当の意味での自信になり、生きていくうえで大切な力につながっていくのではないかと思います。

一人一人がかけがえのない存在であること、そして周りの人に支えられていることを、「認める・ほめる・励ます」日々の練習をとおして子どもたちに伝えていきたいものです。

## 下都賀.小山支部

栃木県ソロコンテスト予選を行いました。県コンクール参加者を紹介します。

12月5日(日) 小山市生涯学習センター 14:00より

中学生の部 (参加者25名)

Xylo.	ガボット (ゴセック作曲)	沼尾 侑子	石橋中学校2年
Fl.	メヌエット (ビゼー作曲)	後藤 広菜	小山第二中学校2年
Fl.	ターフェル・ムジークより (テレマン作曲)	遠藤 美紅	間々田中学校2年
Cl.	ノクターン (ショパン作曲)	三浦 純美	小山城南中学校2年
A.Sax.	チャールダッシュ (モンティ作曲)	矢野 愛実	間々田中学校2年
A.Sax.	風笛 (大島ミチル作曲)	渋谷 彩乃	野木第二中学校2年
T.Sax.	「ヴァイオリンソナタ」より (エツコレ作曲)	須藤 正貴	小山中学校2年
Hr.	G線上のアリア (J・S・バッハ作曲)	猪瀬 友美	小山中学校2年

高校の部 (参加者6名)

Fl.	ヴェニスへの謝肉祭 (ジュナン作曲)	岩下 美穂	石橋高校2年
Fl.	ソナタ (プーランク作曲)	坪田 彩	石橋高校2年
Eup.	スチューデント・コンチェルティーノ (戸田 顕作曲)	松山 優衣	石橋高校2年

毎年、参加者各中学校高等学校のたくさんの仲間や保護者の応援のもと、緊張感の中にも暖かい雰囲気で行われる地区予選会です。

## 上都賀支部

前号に穴を開けてしまいました、すみません。夏から秋にかけて、特にコンクール後から10月くらいまでにかけて、いくつかの学校が演奏会を開きました。今回はそのご報告を。

以前は、学校の吹奏楽部の演奏会といえば秋が旬、という感覚があったように思うのですが、いつ頃からかサマーコンサートをやる学校が増えました。夏に2校、秋に2校のコンサートを鑑賞しての感想です。

I中学校はコンクールの代表選考会出場の翌日に演奏会というハードなスケジュールの中での開催でしたが、4部構成2時間半のコンサートを見事にこなしていました。先輩との合同演奏やソロ、アンサンブルの披露など変化に富んだステージでした。

H中学校は夏休みも後半の開催。この団体は毎年ゲストを招いての演奏会を行っているのですが、今年はハンドベルグループとの共演で、合同演奏を行っていました。

秋は10月の連休中にO中学校が、ゲスト指揮者を招いての演奏会を行いました。この学校ならではの質の高い演奏と、寸劇仕立てのパート紹介がとても印象的でした。

翌週、I高校の演奏会。大ホールを満席にする集客力と、それに見合った内容、演出で、聴き応えのある一晩でした。

この他にも、案内を受け取っただけでもF中学校、K中学校などの演奏会が行われています。もうひとつ、これは締め切り後なので報告にはなりません、数少ない一般団体の活動について。12月12日、日光市の市制50周年記念事業の演奏会の合唱劇および委嘱作品オラトリオに、同市の吹奏楽団が一般公募者を加えて参加することになっています。

我々アマチュアにとって、1つの演奏会は文字通り大イベントですが、苦勞してでも1つの演奏会をこなすことで、数多くの財産を蓄えることができると改めて感じました。多大な努力を払われた企画者指導者各位に、一聴衆として敬意と謝意を表します。(S. O.)

## 塩谷・那須支部

「新バンドの目標や現状」について各学校からの活動報告です。!!

### 県立大田原女子高校

私たちは部員 17 名という少ない人数で、それぞれが力を発揮し、楽しく活動しています。まだ歩み出したばかりですが、一步一步しっかりと進んでいこうと思います。

部長 三森千尋さん

### 黒磯市立黒磯中学校

3年生が 11 月に引退してしまって、力不足な私たちだけになってしまいました。だから、基礎練習をいつもより多めにやり、土台となる部分をつくらせて、どんな曲でも対応できるように練習しています。

部長 岡崎さん

### 高根沢町立西小学校

6年生は、5年生に引き継ぎをしているところです。そして、新しいメンバーで、夏のコンクールに向けて動き出しています。

6年 小林真子さん

### 県立烏山高校

我が校の定期演奏会である「ドリームコンサート」(烏山女子高校・馬頭高校との合同演奏あり)もいよいよ 10 回目を迎えることになりました。部員一同 3月 13日・3月 20日の 2回のコンサートに向けて張り切って練習しています。

顧問 岡佳子先生

### 大田原市立若草中学校

私たちは現在、1年生 10人、2年生 12人で仲良く元気に活動しています。他の中学校に比べると人数が少ないので苦労することもたくさんあります。でも「若中サウンド」を守っていけるように頑張りたいと思います。

部長 泉田春菜さん

### 高根沢町立阿久津小学校

新入部員が入り、パートとリーダーたちが「聖者の行進」「ふれあい」などを教えています。夏の大会に向けて、新入部員にもたくさん教えることがあります。4、5年生は「ワシントンポスト」「さくらんぼ」という曲を練習しています。大会の曲が何になるか楽しみです。

部長 宮崎咲紀子さん

### 県立大田原高校

大田原高校音楽部プラスアンサンプル班は、コンクール金賞受賞を目標に、練習に励んでいます。男子校ならではのパワフルな演奏をしますので、ご期待下さい。

副部長 高瀬祥一さん

### 矢板市立矢板中学校

特老やしお苑訪問演奏・アンサンプルコンテスト・ふれあいコンサート・定演の成功など、よい音楽、楽しい音楽作りを目指し、がんばっています。

部長 早川梨紗さん

### 那須町立荒川中学校

これからは、3年生の送別会があるので、3年生のために心を込めて演奏したいと思います。来年度の部活動は明るく協力し合える部活動にしていきたいと思っています。

部長 峰岸孝明さん

### 西那須野町立三島中学校

現在 1、2年生 50名で活動しています。冬休み明けの部内ソロコンサートに向けて各自練習しています。今まで指導してくれた 3年生も臍きにくるので、成長のあとがみられるようなコンサートにしていきたいと思っています。

顧問 矢板浩美先生

### 湯津上村立湯津上中学校

私たちは現在、15名という極少数人数で、みんな楽しく活動しています。3年生が引退し、15名という人数で創るサウンドに不安はありますが、一人一人自分の練習を大切に、毎日一生懸命頑張っています。私たちは「感動ある音楽」を生み出すために、これからもとことんこだわっていきます!!

部長 長谷川史織さん

## 下都賀・栃木支部

3年生の部長と副部長に 3年間の思い出を語ってもらいました。

・3年間で一番心に残っているのは、今年の夏のコンクールです。本番の 10分間のために、何ヶ月も夢中になって練習を続けました。今年は「工夫の三年生」という名の下に、お互いにアドバイスをしたり、後輩に教え、素晴らしいものを作り上げようと努力しました。

・3年間で、一番心に残っているのは、「ホール・ニュー・ワールド」です。この曲は、3年間で、定期演奏会で披露してきました。1年目は、先輩について行くのが、精一杯。2年目は音がしっかり出るようになり、3年目は歌うように演奏することができ、言わば、私たちの成長と共に歩んできたようなものです。だから私たちが最後に演奏する曲として、学校祭でも、アンコール曲に選びました。

・3年間、曲にも思い出はありますが、やはり 3年生の仲間と過ごしたことが、大きな思い出です。23名、どんな時にも、一緒に乗り越えてきました。悩みを聞いてもらったり、先生方に支えてもらったからこそ、今の自分があると思っています。

## 足利支部

足利地区では、毎年2月に「ウインド・アンサンブル・フェスティバル」が開催されます。この大会は、中高生にとってはコンクールや秋の各種演奏会も終わり、最上級生が引退した冬場の技術の向上のまたとないチャンスであり、そして小学生にとっては卒業を控えた6年生の最後のステージとして貴重な発表の場となっており、例年市内の多くの団体が参加しています。

吹奏楽の冬的一大イベントとしてすっかり定着した「ウインド・アンサンブル・フェスティバル」も回数を重ねて、来たる2月20日（日）には第20回を迎えることとなりました。この記念すべき機会に、さらに吹奏楽仲間の輪を広げるべく、もう一つの大イベントが誕生します。それは・・・

### 「自由演奏会in足利2005」！！

年齢・演奏技術・経験年数等を問いません。音楽と楽器の好きな方なら誰でも参加できる、文字通り「自由」な演奏会です。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- ・開催日程 平成17年2月13日（日）  
受付 9：00～  
公開リハーサル 10：00～14：30（昼食休憩あり）  
コンサート 15：00～16：00
- ・会場 足利市民プラザ内勤労身体障害者スポーツセンター
- ・参加費 1名1,000円（当日受付にて支払い）  
※リハーサル見学及びコンサート鑑賞、コーラスでの参加は無料です。
- ・参加募集期間 2004年12月4日（土）～2005年2月5日

詳細は足利市民プラザ（ 足利市朝倉町264 tel 0284-72-8511、  
fax 0284-72-7278）へお問い合わせいただくか、下記の市民プラザまたはヤマハのホームページをご参照ください。（応募用紙をダウンロードできます。）

<http://www.watv.ne.jp/~s-plaza>

<http://w.music-eclub.com/jiyuensoukai/>



## 宇都宮・河内支部

今回から宇都宮支部の加盟団体を2校ずつ紹介していきます。トップバッターはこの2校です。

### 宇都宮市立五代小学校

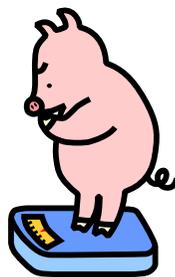
五代小金管バンドは、学校の創立と共に誕生し、代々教員がボランティアで指導しています。常任外部講師を置いた時期もありましたが、ここ何年かは、先生と子供で頑張っています。

宇都宮市の小学校では、めずらしいケースかも。素人集団ながら、学校行事の他に、地域の行事にも沢山参加させていただいています。とにかく、演奏することが大好きな仲間達です。(顧問 菊地久美子先生)

### 栃木県立上三川高等学校

私たち上三川高校音楽部は、顧問の細野先生のご指導のもと、2年生11名、1年生9名で毎日楽しく活動しています。今年は文化祭や高文連総合音楽祭をはじめ、上三川町の夏祭りや養護学校のクリスマスコンサートなど、たくさんの行事で演奏させていただきました。どれも私たちにとって良い経験になり、良い思い出にもなりました。これからも積極的に参加していきたいと思っています。

現在は1月の高校音楽祭に向けて部員一同練習に励んでいます。より良い演奏ができるようにこれからも頑張りたいです。(部長 浅田 尚美さん)



◇ ..... ◇  
☆ 好評の「マイバンド・マイミュージック」  
次回は、「矢板市立矢板中学校吹奏楽部」を予定しています。



2005年 1月 コンサート カレンダー 栃木県吹奏楽連盟

日	曜	項 目	備 考
16	日	<b>栃木県吹奏楽ソロコンテスト</b>	栃木県総合文化センター サブホール

2005年 2月

日	曜	項 目	備 考
5	土	<b>ふれあいコンサート in YAITA</b>	矢板市文化会館 14:00 無料 ♣童謡メドレー・子どもの世界 他
20	日	<b>第20回ウィンドアンサンブル フェスティバル</b>	足利市民プラザ文化ホール 9:30 500円 ♣市内各団体のアンサンブル発表
26	土	<b>第3回安佐地区スクールバンドフェスティバル</b>	葛生あくどプラザ 無料 開演時刻は未定 ♣問い合わせは支部長へ

2005年 3月

日	曜	項 目	備 考
13	日	<b>烏山高校吹奏楽部第10回ドリームコンサート</b>	栃木県教育会館 15:00 無料 ♣烏山女子高校・馬頭高校との合同演奏もを行います。 ※3月20日(日)は烏山町民体育館!
19	土	<b>第10回スプリングコンサート</b>	那須野が原ハーモニーホール大ホール 13:30 無料 ♣那須地区中学校の8バンド(大田原中・若草中・湯津上中・那須中・黒田原中・黒磯中・三島中・西那須野中)による各校ステージ、および2年生合同演奏。 ♣近年、那須地区のレベルもかなり上がってきています。ぜひ会場に足をお運び下さいまして、お聴き下さい。
26	土	<b>大田原高校音楽部 第14回定期演奏会</b>	那須野が原ハーモニーホール14:00 無料 ♣今年も是非いらしてください。
27	日	<b>第12回矢板中学校定期演奏会</b>	矢板市文化会館大ホール 14:00 無料 ♣本校OG・OB、講師(東京フィルメンバー等)多数出演

★平成17年度 栃木県吹奏楽連盟 定期総会

4月29日(金・祝) 教育会館大ホール